第５学年１組　学級活動（２）学習指導案

日時：令和５年６月９日（金）第５校時

【研究主題】

自分の考えをもち　なかまとともに　学びを進めていく児童の育成

～主体的に情報を活用する能力と的確に情報を判断する力の向上を目指して～

１　題材名　　ネット上でのコミュニケーション

　　　　　　　イ　よりよい人間関係の育成

２　題材設定の理由について

　本題材は、学習指導要領上、学級活動(2)の内容の一つである「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の中のイ「よりよい人間関係の形成」を基に位置付けられている。スマートフォン等のＩＣＴ機器が身の回りにあふれてきている現在、インターネットを通してコミュニケーションをとる機会が増えてきている。その際、普段の会話とネット上でのコミュニケーションでは異なる部分があることを認識する必要がある。学校生活だけでなく、情報社会の中でも相手の気持ちを考え、思いやりのある望ましい態度を育てるために、本題材を設定した。

（略）

指導にあたっては、YouTubeの文部科学省チャンネルにある「教材⑬うまく伝わったかな？（導入編）」の動画を視聴し、仲のよい友達が、どうしてトラブルになってしまったのかを考えさせながら、ネット上でのコミュニケーションの難しさに気付かせたい。また、展開の場面では、顔や表情が見えないことで誤解が生じやすいことを認識できるようにしていきたい。そして、インターネットでのコミュニケーションの特徴やその他のコミュニケーションツールの特徴を整理するとともに、よりよいコミュニケーションの取り方を考えさせながら、どんなことに気を付ければ良いのかを明確にし、実践につなげていきたい。

３　事前の指導

* 学級活動「ふくしま情報モラル診断」

４　研究主題に迫るための手立て

（１）　友達との間で起きたコミュニケーションのトラブルの原因を考えさせることを通して、インターネットでのコミュニケーションの特徴や気を付けなければならないことを理解できるようにする。

（２）　気付いたことをグループや全体で共有し、気を付けたいことをワークシートにまとめさせることで児童の意識を高め、今後の生活で実践できるようにする。

５　本時のねらい

　　　自分と相手の受け取り方に違いがあることや、ネット上では「誤解」が生まれやすいことに気付き、それらを踏まえた上で自分の気持ちを上手に相手に伝える方法を考え、意思決定できるようにする。

６　学習過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動・内容 | 時間 | 〇教師の支援　※評価 |
| つかむ | １　本時のめあてをつかむ。   1. 事前に実施した情報モラル診断のアンケート結果（利用状況の実態等）を見る。 2. 動画（文部科学省YouTubeチャンネル）を視聴する。 3. 本時のめあてを知る。   ネット上での友達とのコミュニケーションについて考えよう。 | 10 | 〇　学級の多くの児童がスマホ等のインターネット機器を使っていることに気付けるようにする。  〇　ネット上でのコミュニケーションの難しさに気付かせ、友達などと上手にコミュニケーションを行っていく方法を考える必要性を高める。 |
| さ  ぐ  る  見  つ  け  る | ２　どうしてトラブルになったのかを話し合い、考えを交流する。  ・　スタンプは伝わりづらい。  ・　お互いの気持ちが分からなかった。  ３　ひろしとかずやはお互いどうすればよかったかを話し合う。   1. グループで話し合い、オクリンクにまとめる。   ・　送られると嫌だから、何度もスタンプを送らない。  ・　相手の気持ちを考えて行動する。   1. 全体の考えから、ネットを使う上で大切なことは何か考える。 2. まとめをする。   　ネット上での友達とのコミュニケーションは、相手のことを思いやって行っていくことが大切。 | ５  15 | 〇　自分と相手の受け取り方について、それぞれの立場で意見を比較できるように板書し、お互いの気持ちが分かっていないことに気付けるようにする。  ○　一人一人が意見を出しやすいよう、動画の事例の解決策を３～４人のグループで話し合う。  〇　オクリンクのボードをグループの班長に送り、グループの考えを共有しやすくする。  〇　自分の考えや思い込みで決めるのではなく、相手を思いやることが重要であることを確認する。  〇　全体で話し合ったことを踏まえながら大切なことを振り返られるよう促す。 |
| 決  め  る | ４　学習を振り返る。  　⑴　SNSツールなどでも相手から送られてきたら嫌な気持ちになる表現について話し合う。  　　・　おもしろいね  　　・　何？  　　・　よくない？  　⑵　ネット上でのコミュニケーションを行う上で、最も気を付けたいことを意思決定する。 | 15 | ○　動画視聴を基に考えたことを、実生活での具体的な場面に照らし合わせて考えられるようにするために、問いかける。  〇　ゲーム以外のコミュニケーションツールにもトラブルになる可能性があることを確認する。  〇　普段の会話では気にならないことでも、文字のみになるとどうなるかを考えさせる。  ※　ネットの特性や相手の気持ちを考えることの大切さを理解し、上手にコミュニケーションを行うために自分が気を付けることについて決めているか。（思・判・表）  【発表・オクリンク】 |

【参考】・　文部科学省YouTubeチャンネル「⑬うまく伝わったかな？（導入編）」「⑬うまく伝わったかな？（解説編）」

<https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm>（参照2023-2-22）

・　LINEみらい財団情報モラル教育教材「楽しいコミュニケーションを考えよう！」

<https://line-mirai.org/ja/download/>（参照2023-2-22）